

地域人材ネット

地域に溢れる「ないね」を「いいね」に変えるトキメク仕組みづくり

武田昌大 (たけだまさひろ)

株式会社kedama 代表取締役



○ 登録者情報
所在地
秋田県北秋田市

略歴

1985年 秋田県北秋田市生まれ
2008年 立命館大学情報理工学部メディア情報学科卒業
2010年 秋田の若手農家集団トラ男結成 代表
2011年 株式会社kedama設立 代表取締役
2015年 シェアビレッジ設立 代表
2016年 内閣府 地域活性化伝道師
2017年 おむすびスタンドANDON 設立 共同代表

【受賞】

2015年 グッドデザイン賞 ベスト100 特別賞「地域づくりデザイン賞」



○ 地域に溢れる「ないね」を「いいね」に変えるトキメク仕組みづくり

取組の内容

2010年

高齢化の進む秋田県の農業を若手の力で変えるべく、トラクターに乗る男前農家集団「トラ男」を結成し、ソーシャルメディアや首都圏での試食イベントを通して真に顔が見える関係づくりとインターネット通販による直売ブランドを実施しています。全国・世界へ販路を拡大中です。

2015年 人口減少により空き家になり消滅し始めている古民家を会員制民宿として再生させ、インターネット上で会員である 村民を募り、共有し、新しい村を作る「シェアビレッジ」を開始。地方と都市を結び、関係人口を増加させています。

2017年 都市と地方を結ぶ拠点として、東京都中央区日本橋におむすびスタンドANDONを開業。1～3階まであり、1階は昼はおむすび屋、夜は秋田の食材や日本酒が飲めるバー、2階は本屋、3階はイベントスペースとなっており、様々なコミュニケーションを生む場となっている。

実績

全国の古民家をつなぐ第2の故郷づくり「シェアビレッジ」の会員数は、1年半で全国に約2000人。

再生させた古民家は秋田県五城目町の築134年の茅葺古民家「シェアビレッジ町村」と香川県三豊市仁尾町の邸宅「シェアビレッジ仁尾」の2軒。年間利用者数は約2500人。定住者数は10名超。



工夫した点や苦勞した点

単なる古民家再生プロジェクトではなく、会員を「村民」、年会費を「年貢」、村民限定の都市部イベントを「寄合」、年に一度の現地大型イベントを「一揆」と名付けるなど、ネーミングや見せ方、デザインなど都市の若者を巻き込む仕組み作りにも工夫をしました。

PR・ファンづくり・資金調達の方法としてクラウドファンディングを活用し、総額1000万円以上の支援額を達成しています。



ひとことPR

高齢化・人口減により衰退して行く課題は地域が共通して抱えていると思います。そこに地域ならではの「価値」を見つけ、「イケてる化」することで都市の若者や世界から日本へやってくる人々を巻き込んで行く仕組みが作れると思います。誰もが気軽に楽しく地方と関われる「新しい田舎づくり」を目指します。



○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進		11	その他
○	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

トラ男 <http://www.torao.jp>
トラ男一家 <http://toraofamily.com>
シェアビレッジ <http://sharevillage.jp>
おむすびスタンドANDON <http://andon.shop>

連絡先

メールアドレス	info[アットマーク]torao.jp	その他	
---------	----------------------	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。